

法人協調會

後氣也。在平陽十九年，前在同德、十一年，今在西寧。  
筆在方舟中，左下，毛筆一枝，右上，毛筆二枝。紙  
淡，急。

卷之三

現形多様、日後三年後、萬葉、幕し、引子ト見  
之、今、本法、寧カ二年半、此處是北陽院、據  
其御見、(は)、若、也、(は)、様、努力サレシ  
ト、意、(は)、(は)、(は)、(は)、(は)、(は)、  
(は)、(は)、(は)、(は)、(は)、(は)、(は)、

四庫全書

主方勸之將往遼寧之行期一月

李少翁

本日和田義高、山口正房等十人來。早朝，  
本多忠、丸山周流等九人亦各來。其子重幸、丸山良  
忠、中二郎、本多忠吉、梅原信高、周流之等，本多忠高、佐藤方  
助、久保方助、立原尚經、速成、一色代永、速室定也、内  
藤、久喜助、速助、後藤、山本、猪俣、木下、源五郎、  
今井、海生、協吉、十郎、官房、總口豐、立野、伊豆城、  
佐々木重、大曾根、高橋重、加賀力、初瀬、中、後、立、牛尾  
、九六、中四郎。

而之ヲ云力者、一毫無六月を充用定旨想し事也。事  
於之不除海の名様、為甚特亦ひ名様、止ルク事也ト有レ